

**2008年度
第2四半期決算説明会**

7251 株式会社 ケーヒン

2008年11月7日

2008年度 第2四半期決算説明会

— 事業概要 —

代表取締役社長 小田垣 邦道

10次中期 全社方針の考え方

目指すもの

厳しい市場環境を勝ち抜く企業力と風土の構築

創造力を育み発揮出来る「企業風土」と「仕組みづくり」

システムとして提案できる企業へ進化

総合力が発揮しやすい組織へ変更（二輪・四輪・電子・空調 ⇒ 二輪・四輪）

グローバルで桁違い品質保証力の仕上げと定着

再発防止データベースの構築

フロントローディング開発によるDEBQ課題項目抽出と、仕様・生産工程への反映

売価競争力のあるコスト体質の構築

フロントローディング開発による、DEBQが連携したコストマネジメント

取引先体質改革

システム化 創造力

単体部品

機 構

空 調

電 子

事業統合による
シナジー効果

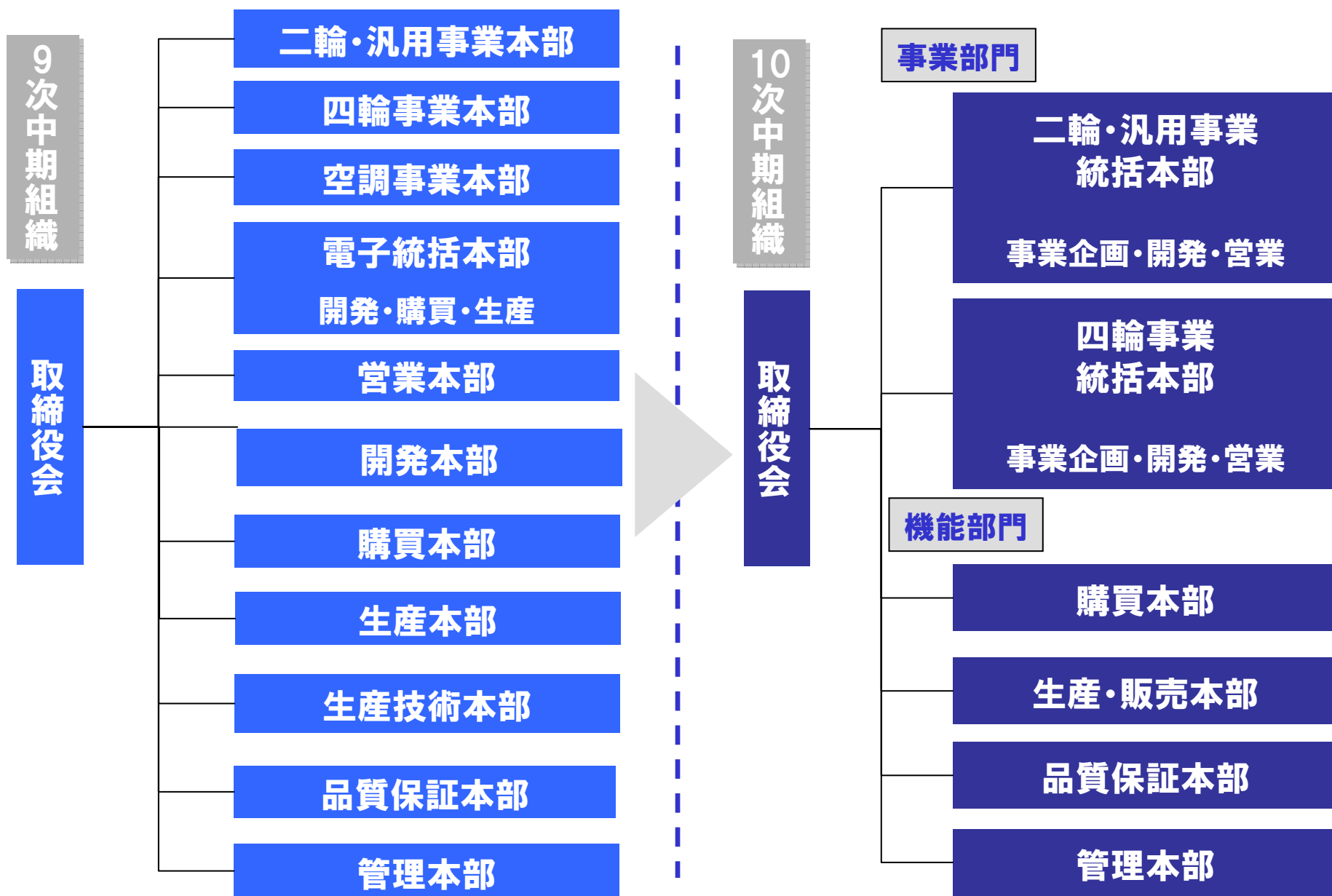
システム化

メカニズムと
エレクトロニクスの融合

システム全体での性能保証

システム化の推進により提案型企业へ！

総合力 創造力



10次中期 全社方針の考え方

目指すもの

厳しい市場環境を勝ち抜く企業力と風土の構築

創造力を育み発揮出来る「企業風土」と「仕組みづくり」

システムとして提案できる企業へ進化

総合力が発揮しやすい組織へ変更（二輪・四輪・電子・空調 ⇒ 二輪・四輪）

グローバルで桁違い品質保証力の仕上げと定着

再発防止データベースの構築

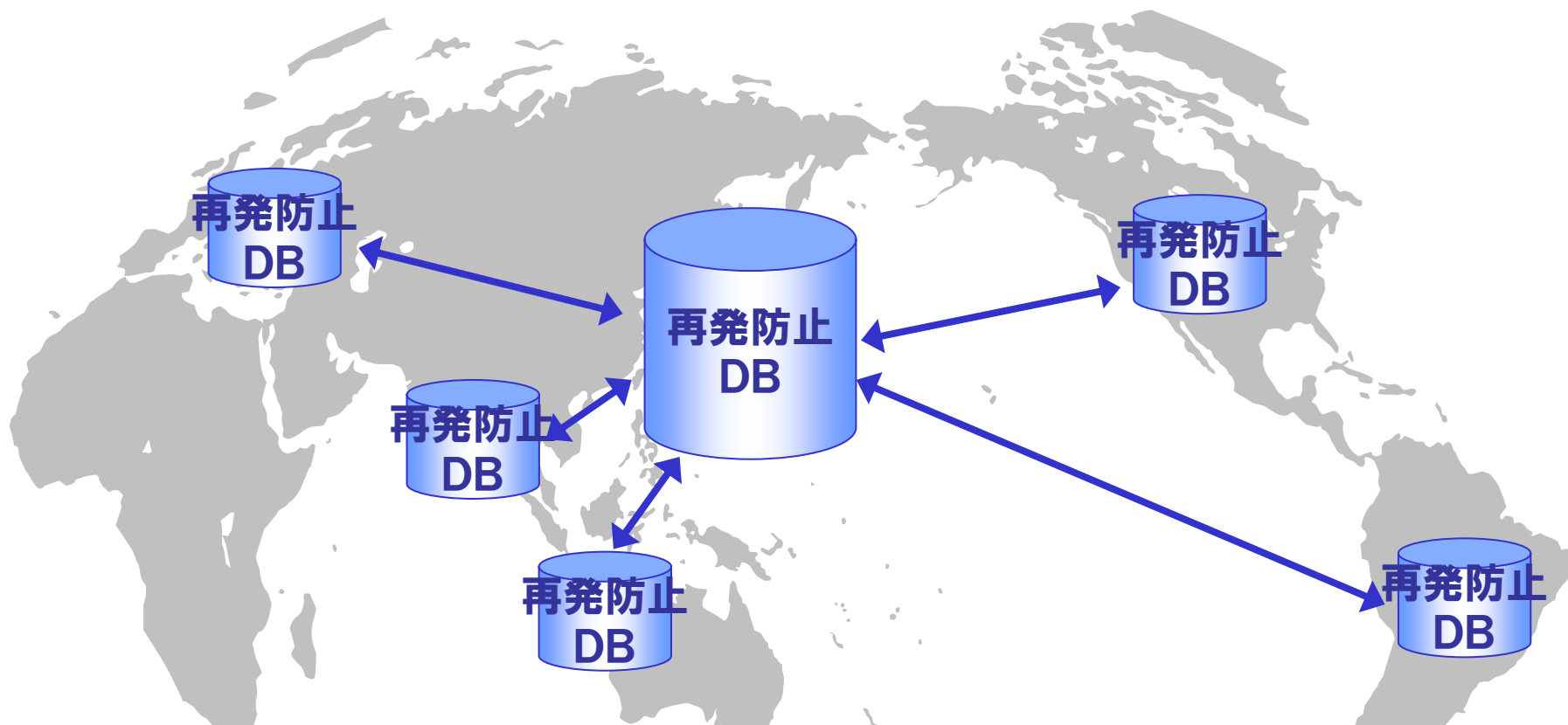
フロントローディング開発によるDEBQ課題項目抽出と、仕様・生産工程への反映

売価競争力のあるコスト体質の構築

フロントローディング開発による、DEBQが連携したコストマネジメント

取引先体質改革

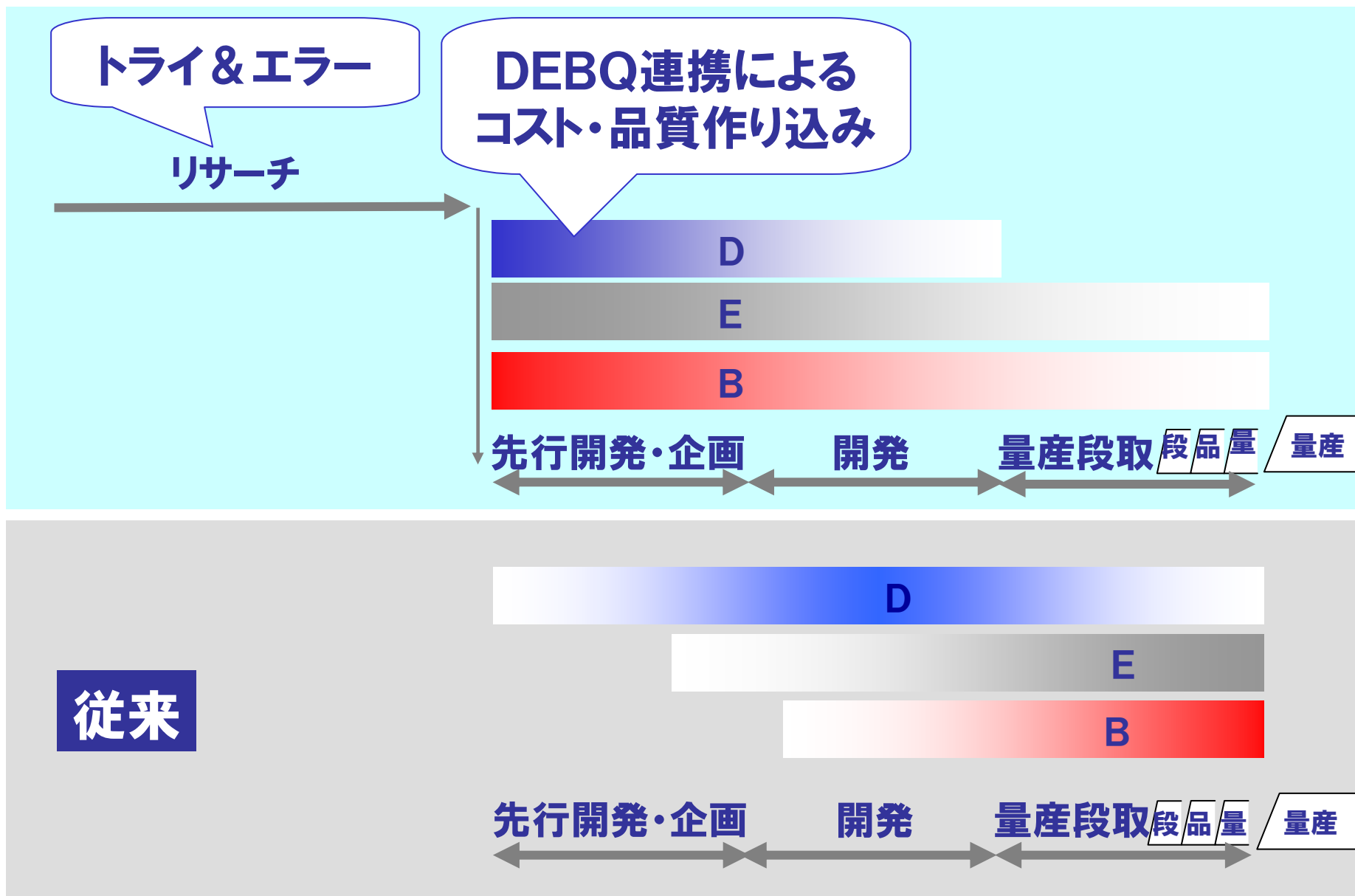
再発防止DB 品質保証力



DEBQ、全拠点、全製品の品質問題データベース化と活用

重大品質問題の再発防止

フロントローディング 品質保証力、コスト競争力



10次中期 全社方針の考え方

目指すもの

厳しい市場環境を勝ち抜く企業力と風土の構築

創造力を育み発揮出来る「企業風土」と「仕組みづくり」

システムとして提案できる企業へ進化

総合力が発揮しやすい組織へ変更（二輪・四輪・電子・空調 ⇒ 二輪・四輪）

グローバルで桁違い品質保証力の仕上げと定着

再発防止データベースの構築

フロントローディング開発によるDEBQ課題項目抽出と、仕様・生産工程への反映

売価競争力のあるコスト体質の構築

フロントローディング開発による、DEBQが連携したコストマネジメント

取引先体質改革

ムダ取り

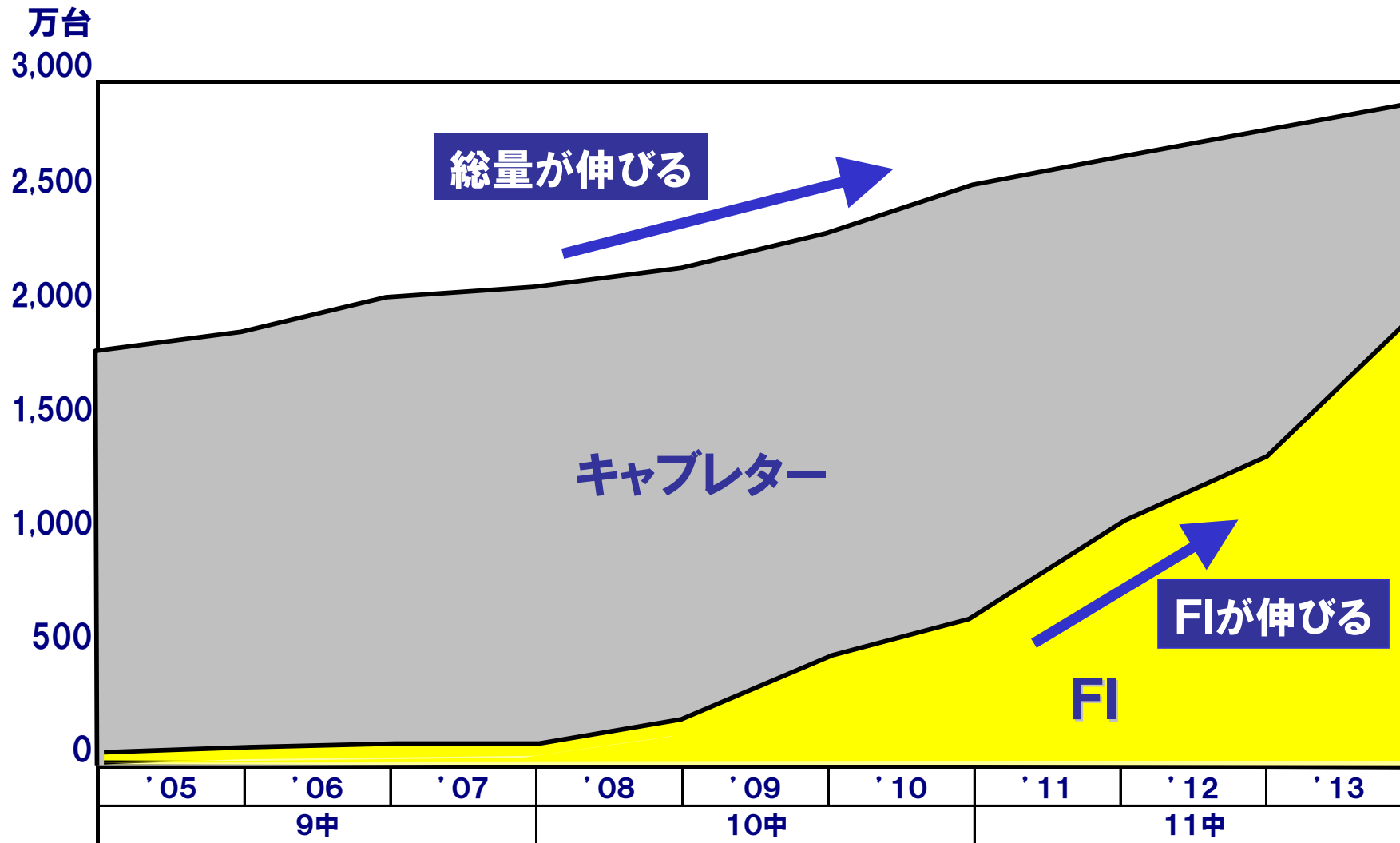
- ロスの排除、
サイクルタイム短縮
- 設備の使いきり
- 在庫の削減
- 知恵
- 体験
- 技術
- ノウハウ

体質改革**生産体質改革**

- 工程の統合化
- 異業種取込みによる付加
価値アップ、物流費削減
- 専用ライン化による徹底
した合理化
- 海外生産へのシフト
- 新技術研究・採用による
オンリーワン企業への転換

二輪車製品領域

二輪キャブレター → FI生産台数の変化



四輪車製品領域

石油代替燃料へのシフト

CNG/LPG車



ECU



インジェクタ



プレッシャ
レギュレータ

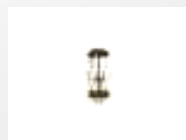
バイオ燃料車



インジェクタ



サブインジェクタ



サブノズル

燃料電池車(FC)



レギュラユニット



ECU①



ECU②



セル電圧モニタ



パージバルブ



インジェクタ

ハイブリッド車



FI /CVT
ECU



バッテリー制御
ECU



PDU

2008年度 第2四半期決算説明会

— 決算の実績 —

代表取締役専務取締役 佐々 和幸

2008年度 第2四半期累計 連結決算概況

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(6ヶ月)		
	2007年度実績	2008年度実績	増減率
売上高	1,689.3	1,615.3	△4.4%
日本	885.2	861.0	△2.7%
米州	558.5	507.3	△9.2%
アジア	454.1	474.1	4.4%
欧州	53.7	48.9	△9.0%
連結調整	△262.3	△276.0	—
営業利益	120.6	99.3	△17.7%
経常利益	128.5	103.5	△19.4%
四半期純利益	43.5	12.8	△70.7%

<売上高の概況>

【二輪事業】

- ・タイヤインドネシアでの販売好調
- ・為替換算上の影響による減少

【四輪事業】

- ・日本の新型車への製品販売拡大
- ・北米市場の縮小と小型車シフトによる販売減
- ・為替換算上の影響による減少

<利益の概況>

【営業利益】

<増益要因>

- ・コストダウン影響
- ・内作合理化効果 等

<減益要因>

- ・為替影響
- ・償却費と開発費の増加 等

【四半期純利益】

- ・製品保証引当金繰入による減益

1株あたり四半期純利益	58.77円	17.25円	△70.6% (-41.52円)
--------------------	---------------	---------------	----------------------------

為替レート

1米ドル	119.20円	106.23円	△10.9% (12.97円高)
-------------	----------------	----------------	----------------------------

2008年度 通期 連結業績見通し

(単位:億円)

	2007年度 (実績)	2008年度 (今回見通し)	増減率	前回発表見通し (5/7)	増減額
売上高	3,393.2	3,291.0	△ 3.0%	3,291.0	—
営業利益	240.1	189.0	△ 21.3%	196.0	△ 7.0
経常利益	244.6	195.0	△ 20.3%	201.0	△ 6.0
当期純利益	112.0	55.0	△ 50.9%	100.0	△ 45.0

1株あたり当期純利益	151.44円	74.36円	△ 50.9% (△ 77.08円)	135.20円	△ 60.84円
------------	---------	--------	-----------------------	---------	----------

為替レート

1米ドル	113.80円	通期 103.11円		10.69円高	100.00円	3.11円安
		上期実績 106.23円	下期見通し 100.00円			

1株当たり 配当金	2006年度	2007年度	2008年度
中間配当金	15円	18円	18円
期末配当金	普通 15円 記念 2円	18円	18円
年間配当金	普通 30円 記念 2円	36円	36円

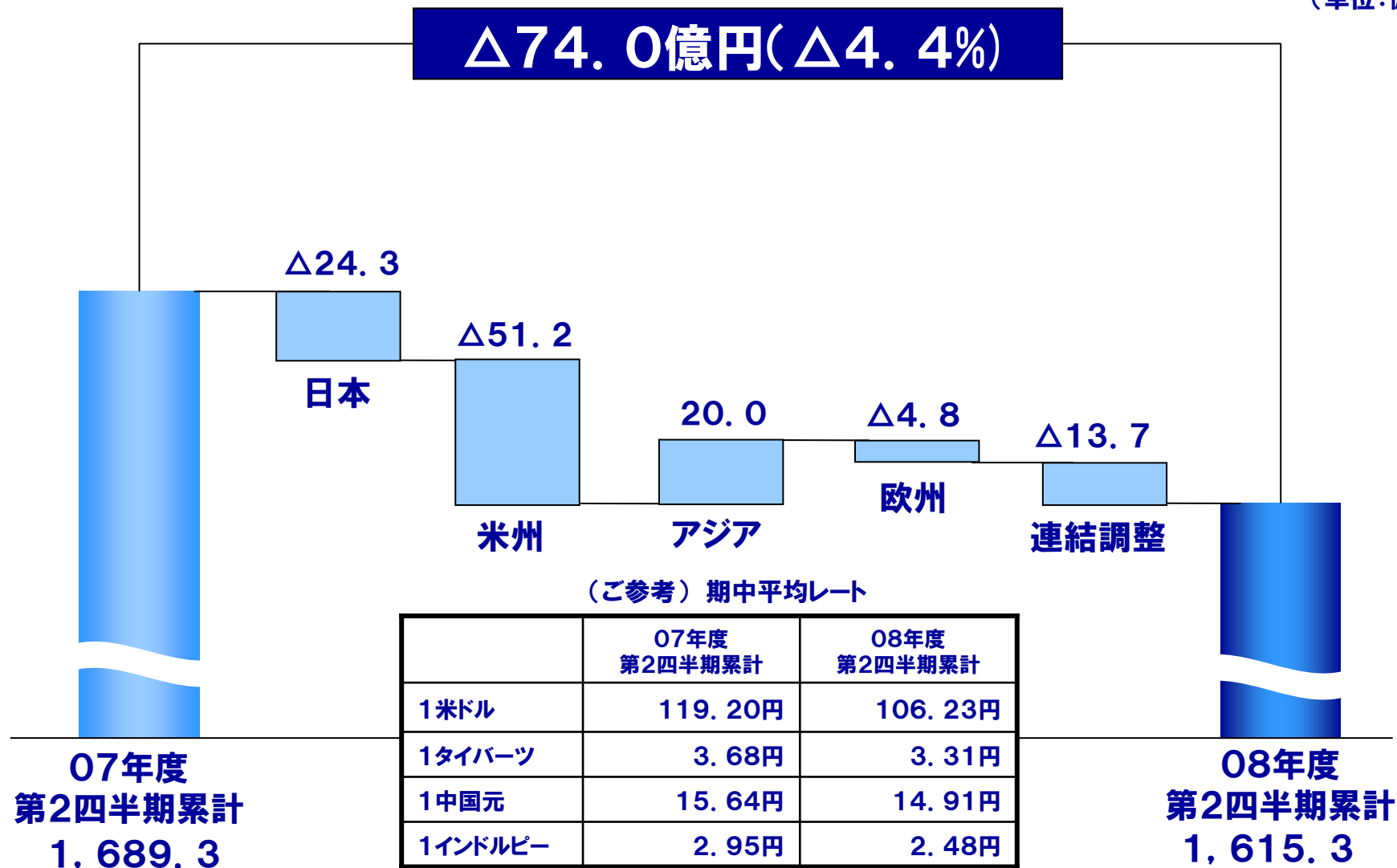
2008年度 第2四半期決算説明会

— 通期業績の詳細 —

取締役管理本部長 小池 正明

2008年度第2四半期累計 地域別売上高

(単位:億円)



参考資料

(単位:億円)

	07年度第2四半期 累計実績		08年度第2四半期 累計実績		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
二輪・汎用事業	398.9	23.6	396.3	24.5	△2.5	△0.6
四輪事業	588.3	34.8	527.2	32.6	△61.1	△10.4
電子事業	366.8	21.7	361.1	22.4	△5.8	△1.6
空調事業	335.3	19.9	330.7	20.5	△4.6	△1.4
合計	1,689.3	100.0	1,615.3	100.0	△74.0	△4.4

増減理由

減: アジアでの二輪販売は好調に推移したが、為替換算影響等により減収

減: 四輪台数増加はあったが、ミックス悪化や為替換算影響等により減収

減: 四輪台数増加はあったが、ミックス悪化や為替換算影響等により減収

減: アジアでの販売増はあったが、主に為替換算影響により減収

<キャブレター 所在地別販売台数>

(単位:万台)

	日本	米国	ブラジル	台湾	タイ	中国	インド	インドネシア	販売台数
08年度 第2四半期 累計実績	78	5	84	40	212	106	341	180	1,046
前年同期比	▲10%	▲37%	15%	▲18%	12%	▲18%	16%	85%	13%

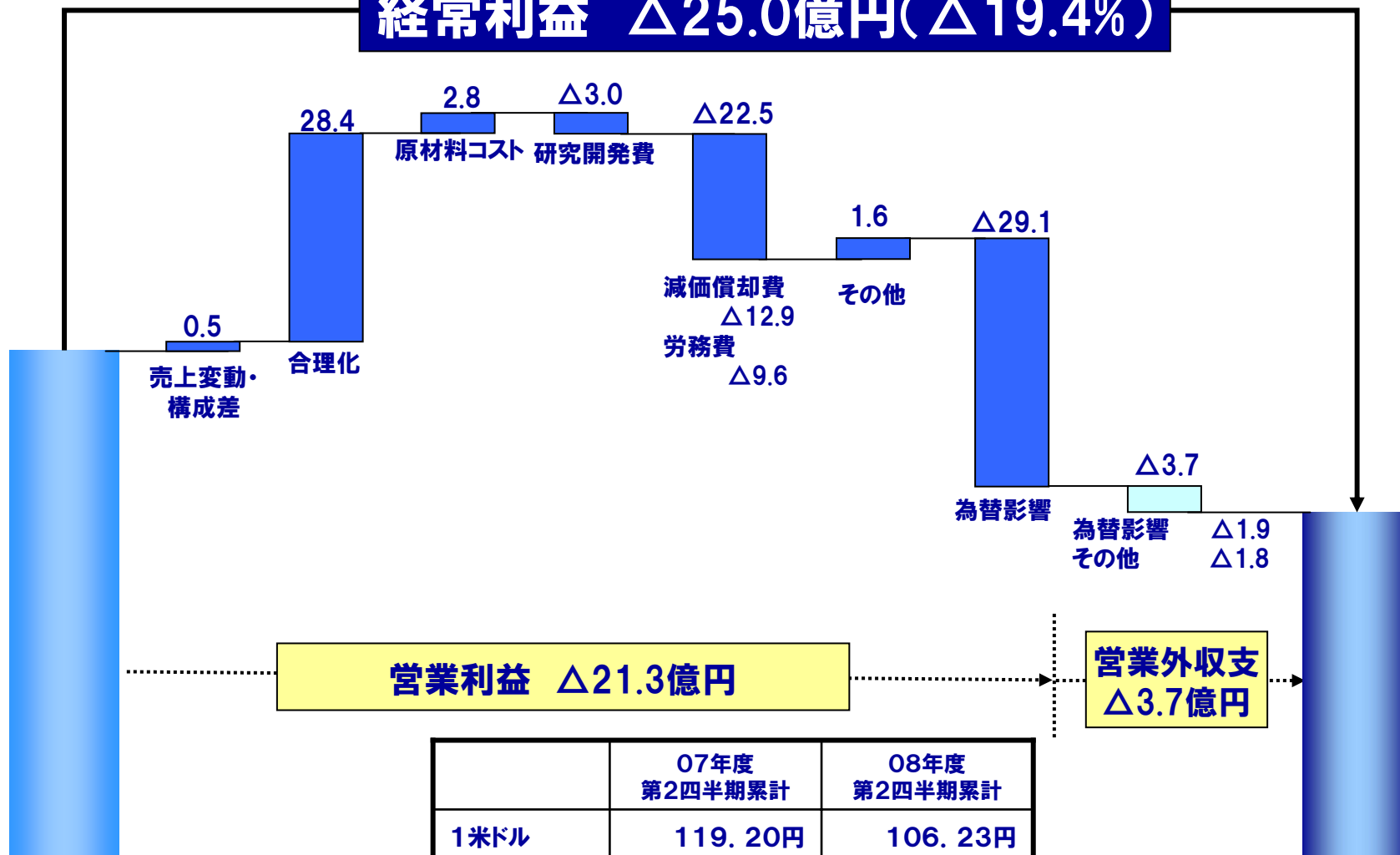
(注:拠点決算ベース)

・二輪用キャブレターは、アジアでの販売好調により増加しました。

2008年度第2四半期累計 連結実績

(単位:億円)

経常利益 $\Delta 25.0$ 億円($\Delta 19.4\%$)



営業利益 $\Delta 21.3$ 億円

営業外収支 $\Delta 3.7$ 億円

	07年度 第2四半期累計	08年度 第2四半期累計
1米ドル	119.20円	106.23円
1タイバーツ	3.68円	3.31円
1中国元	15.64円	14.91円
1インドルピー	2.95円	2.48円

**07年度
第2四半期累計
128.5**

**08年度
第2四半期累計
103.5**

2008年度第2四半期累計 為替影響

実質為替影響		影響額
	米ドル	△15.6億円
	タイバーツ	△2.2億円
	中国元	△1.9億円
	インドルピー	1.0億円
	その他	△1.2億円
売上レート差 *1 (営業利益段階)		△19.9億円
売上／入金レート差 *2 (営業外収支)		△1.9億円
小 計		△21.8億円
為替換算差 *3 (営業利益段階)		△9.2億円
合 計		△31.0億円
	営業利益段階	△29.1億円
	営業外収支	△1.9億円

07年度 第2四半期累計	08年度 第2四半期累計	レート差
119.20円	106.23円	12.97円高
3.68円	3.31円	0.37円高
15.64円	14.91円	0.73円高
2.95円	2.48円	0.47円高

*1:外貨建て売上高を計上する際のレートの前年同期との差

*2:外貨建て売上高を計上する際のレートとその売上が入金される際のレートが異なることにより生じる差額の前年同期との差

*3:外貨建て個別財務諸表を連結する際に使用する円換算レートの前年同期との差額

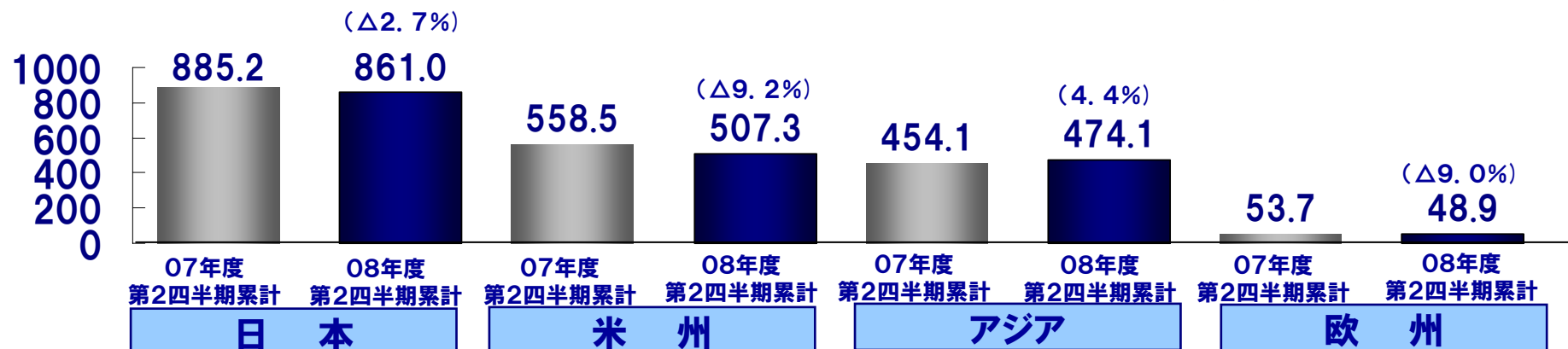
2008年度第2四半期累計 セグメント情報

※ 掲載数値はセグメント間の内部売上を含む金額です。

(単位:億円)

()内は対前年同期増減率

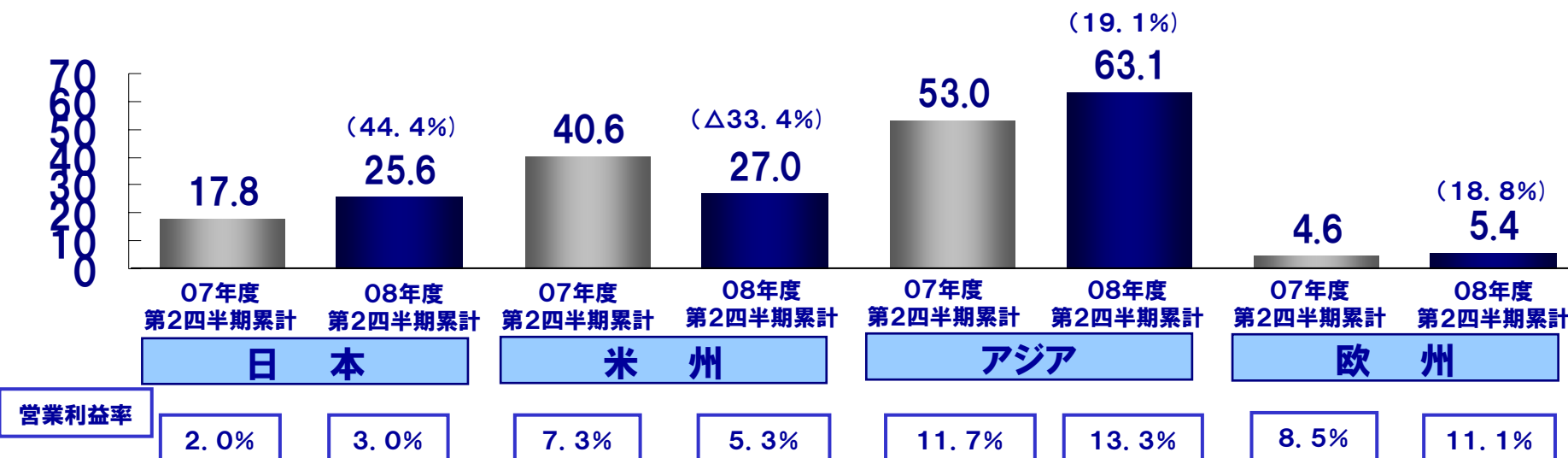
売上高



(単位:億円)

()内は対前年同期増減率

営業利益



営業利益率

2008年度第2四半期累計 設備投資・償却費・開発費

(単位:億円)

	07年度 第2四半期累計実績	08年度 第2四半期累計実績	前年同期比	08年度 期初計画	前期比
設備投資額	86.7	82.9	▲4.3%	211.1	10.4%
減価償却費	77.0	84.3	9.5%	177.8	8.8%
研究開発費	74.1	80.0	7.9%	164.9	10.1%
対連結売上高 研究開発費 (%)	4.4%	5.0%	0.6%	5.0%	0.6%

【設備投資】

米国子会社の新規連結や、タイ・インドネシアでの能力増強投資による増加はあるが、
為替換算により減少

【減価償却費】

過年度の投資増に伴う増加

【研究開発費】

フロントローディング開発や新機種開発増により増加

2008年度第2四半期末 キャッシュ・フロー

(単位:億円)

フリーキャッシュ・フロー
+6.9億円

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	47.9
減価償却費	84.3
引当金の増	52.0
売上債権、在庫、仕入れ債務の増	△52.0
法人税等の支払い額	△33.9
その他	△3.1
計	95.2

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形・無形固定資産の取得による支出	△95.7
その他	7.4
計	△88.3

換算差額	△4.0
新規連結に伴う増	1.2

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金による収支	21.1
配当金の支払他	△27.4
計	△6.3

07年度末
現金及び現金
同等物
期末残高
343.7

△2.2億円

08年度
第2四半期末
現金及び現金
同等物
期末残高
341.5

2008年度通期 連結業績見通し

(単位:億円)

	07年度 (実績)	08年度 (見通し)	増減率
二輪・汎用事業	816.0	855.0	/
四輪事業	1,170.6	2,436.0	
電子事業	747.2		
空調事業	659.4		

前回発表見通し (5/7)	増減額
894.2	△39.2
2,396.8	39.2

	07年度 (実績)	08年度 (見通し)	増減率
売上高	3,393.2	3,291.0	△3.0%
営業利益	240.1	189.0	△21.3%
経常利益	244.6	195.0	△20.3%
当期期純利益	112.0	55.0	△50.9%

前回発表見通し (5/7)	増減額
3,291.0	—
196.0	△7.0
201.0	△6.0
100.0	△45.0

1株あたり当期純利益	151.44円	74.36円	△50.9%
------------	---------	--------	--------

	135.20円	△60.84円
--	---------	---------

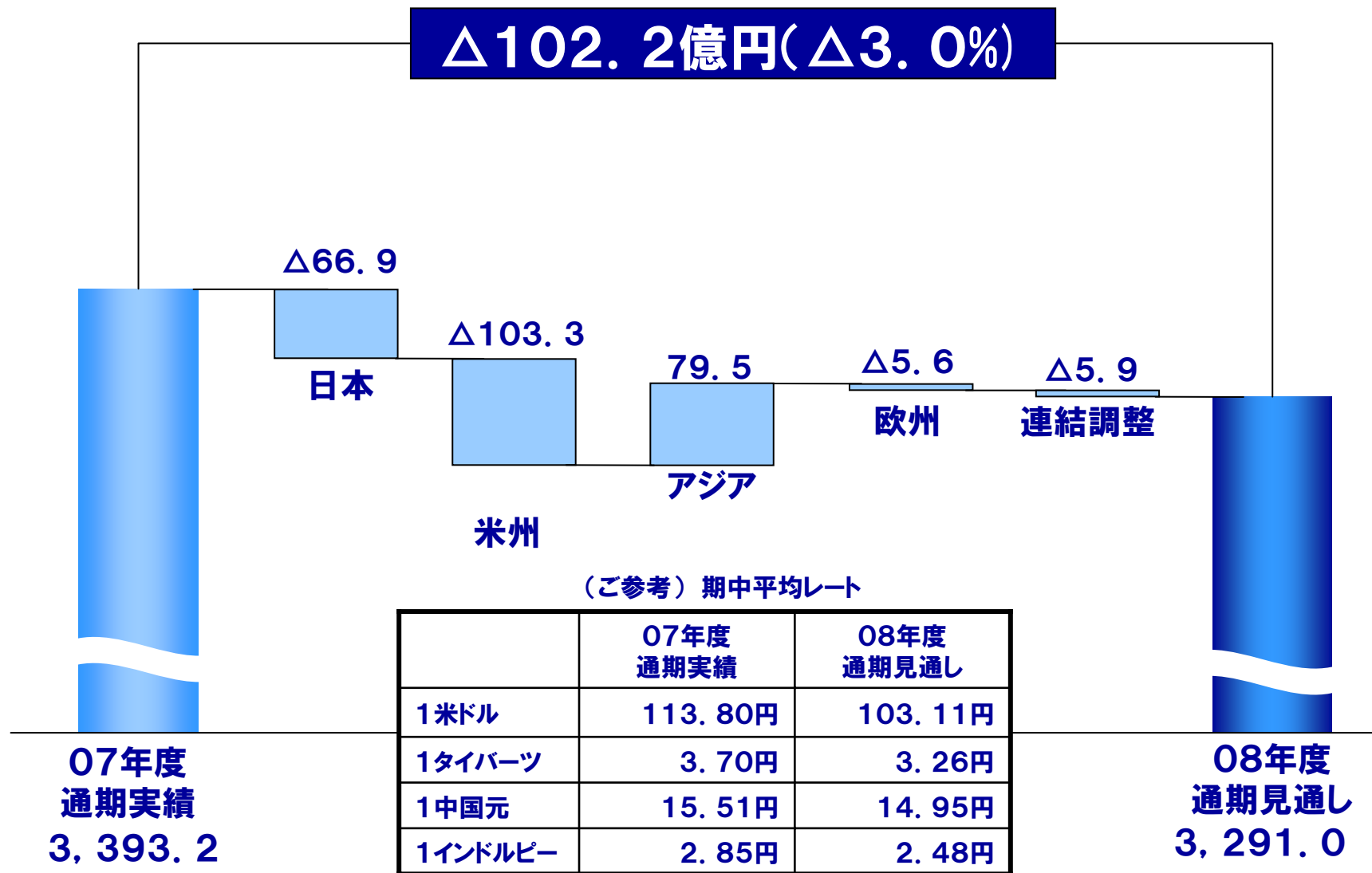
為替レート

1米ドル	113.80円	103.11円	10.69円高
1タイバーツ	3.70円	3.26円	0.44円高
1中国元	15.51円	14.95円	0.56円高
1インドルピー	2.85円	2.48円	0.37円高

	100.00円	3.11円安
	3.21円	0.05円安
	14.07円	0.88円安
	2.49円	0.01円高

2008年度通期 地域別売上高見通し

(単位: 億円)



参考資料

(単位:億円)

	07年度実績		08年度見通し		前期比		増減理由
	金額	%	金額	%	金額	%	
二輪・汎用事業	816.0	24.1	783.2	23.8	△32.8	△4.0	減: アジアでの販売増はあったが、北米・日本での販売減および為替換算影響等により減収
四輪事業	1,170.6	34.5	1,054.2	32.0	△116.3	△9.9	減: 北米でのミックス悪化と為替換算影響等により減収
電子事業	747.2	22.0	761.7	23.2	14.5	2.0	増: 為替換算影響はあったが、アジアでの販売増により増収
空調事業	659.4	19.4	691.9	21.0	32.5	4.9	増: 為替換算影響はあったが、アジアでの販売増により増収
合計	3,393.2	100.0	3,291.0	100.0	△102.2	△3.0	

<キャブレター 所在地別販売台数>

(単位:万台)

		日本	米国	ブラジル	台湾	タイ	中国	インド	インドネシア	販売台数
キャブレター	台数	143	8	150	72	389	213	655	334	1,964
	前期比	▲12%	▲33%	14%	▲19%	3%	▲20%	6%	45%	4%

<FI 販売台数推移>

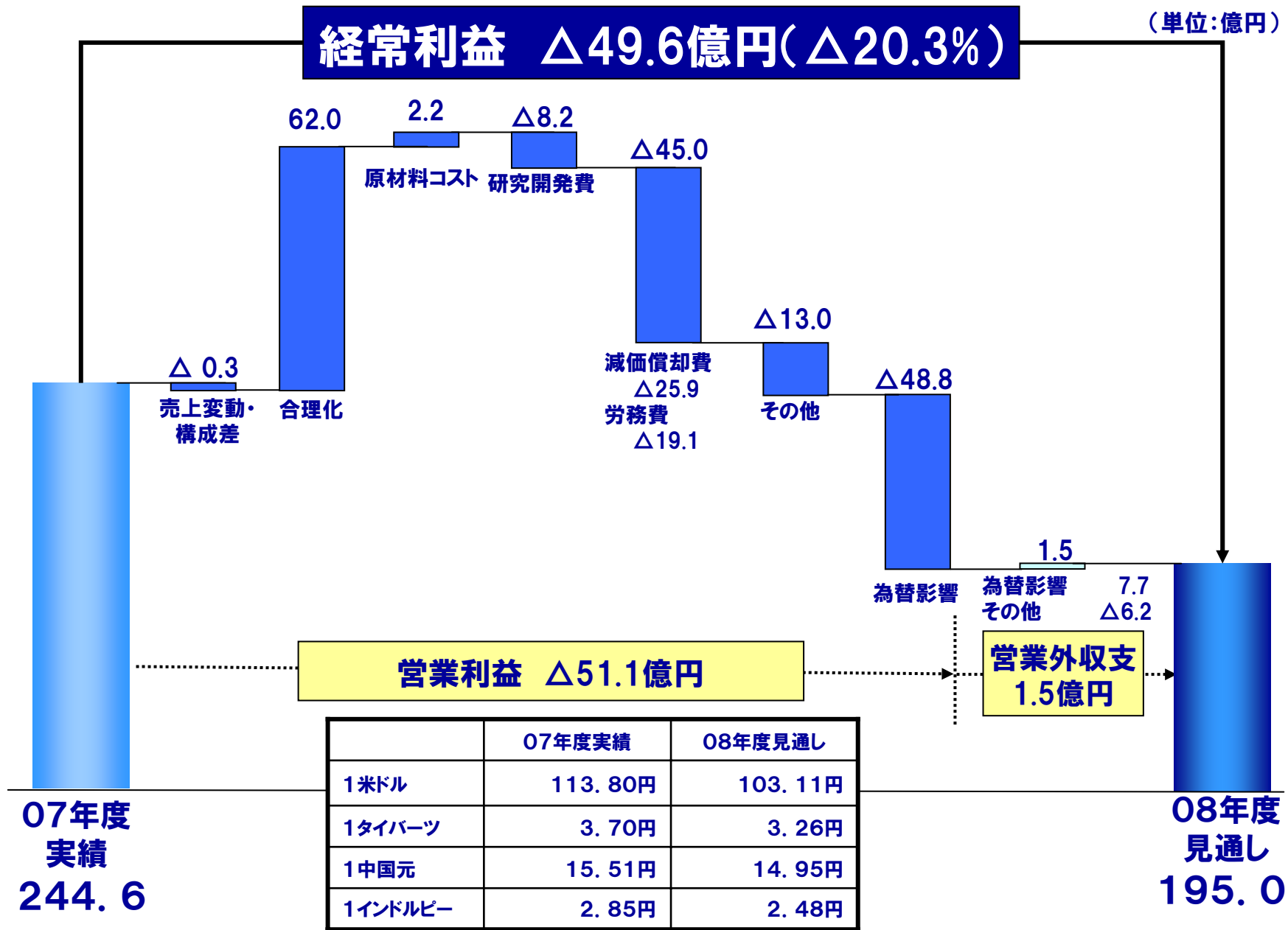
(単位:万台)

		65期	66期	67期(実績)	68期(計画)
		(2005年)	(2006年)	(2007年)	(2008年)
FI	ホンダ向け	35	45	86	115
	ホンダ以外	34	35	49	44
	合計	69	80	135	159

(注:拠点決算ベース、FIは二輪用スロットルボディの台数で集計しております)

- ・二輪用キャブレターは、アジアが販売好調により増加しました。
- ・二輪用FIは、タイの新機種(スクーター、カブ系)適用で増加しました。

2008年度通期 連結業績見通し



2008年度通期 為替影響見通し

	実質為替影響	影響額
	米ドル	△20.3億円
	タイバーツ	△10.2億円
	中国元	△2.2億円
	インドルピー	△3.0億円
	その他	0.4億円
	売上レート差 *1 (営業利益段階)	△35.3億円
	売上／入金レート差 *2 (営業外収支)	7.7億円
	小 計	△27.6億円
	為替換算差 *3 (営業利益段階)	△13.5億円
	合 計	△41.1億円
	営業利益段階	△48.8億円
	営業外収支	7.7億円

07年通期	08年通期	レート差
113.80円	103.11円	10.69円高
3.70円	3.26円	0.44円高
15.51円	14.95円	0.56円高
2.85円	2.48円	0.37円高

*1:外貨建て売上高を計上する際のレートの前年同期との差

*2:外貨建て売上高を計上する際のレートとその売上が入金される際のレートが異なることにより生じる差額の前年同期との差

*3:外貨建て個別財務諸表を連結する際に使用する円換算レートの前年同期との差額

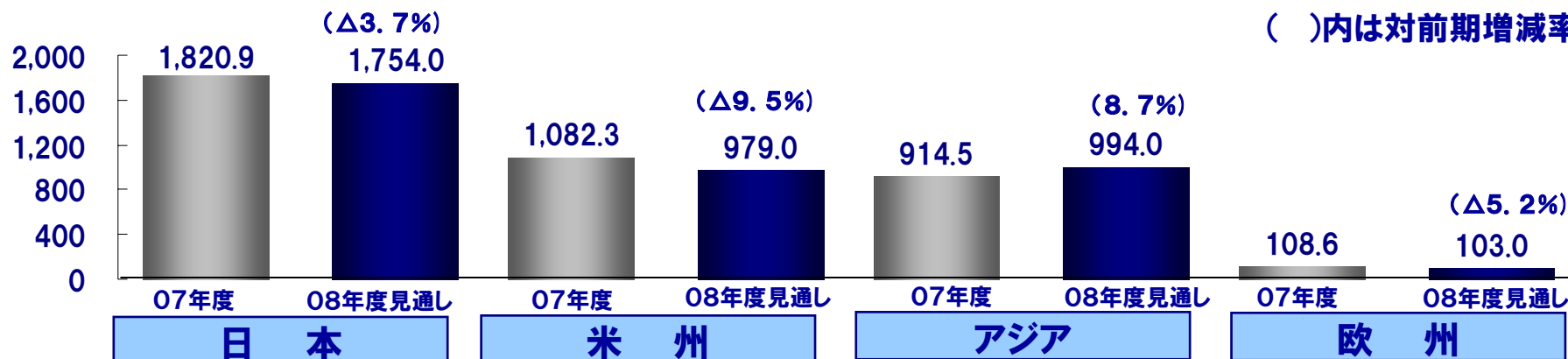
2008年度通期 セグメント情報見通し

※ 掲載数値はセグメント間の内部売上を含む金額です。

売上高

(単位:億円)

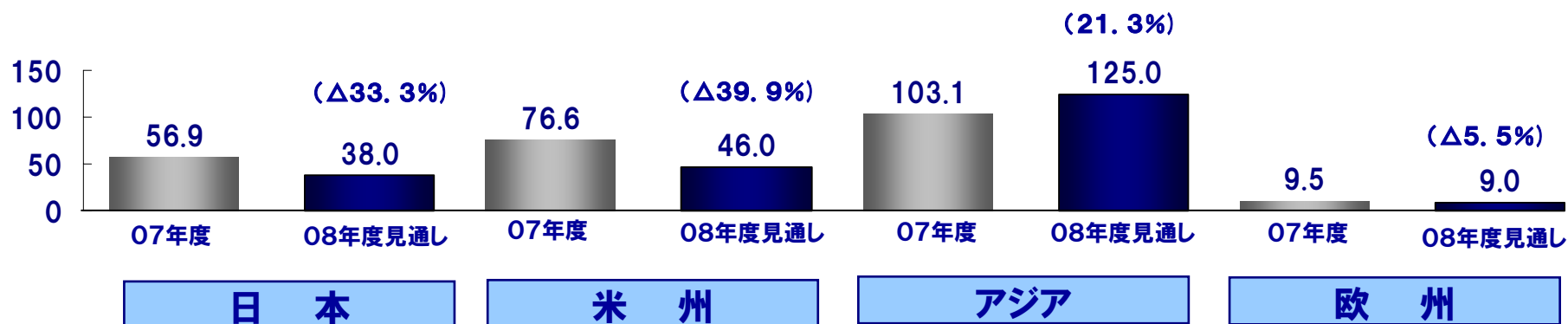
()内は対前期増減率



営業利益

(単位:億円)

()内は対前期増減率



営業利益率

3.1%

2.2%

7.1%

4.7%

11.3%

12.6%

8.7%

8.7%

END

ご清聴ありがとうございました